



鬼塚 哲郎(おにつか・てつろう) 静岡県立静岡がんセンター頭頸科部長

1987年長崎大学医学部卒業。96年国立がんセンター東病院頭頸科、02年から現職。日本耳鼻咽喉科学会(専門医)、日本頭頸部癌学会(評議員)、日本嚥下医学会(評議員)、日本癌治療学会、日本頭頸部外科学会、日本鼻科学会、日本口腔咽喉科学会、日本甲状腺外科学会等に所属。医学博士。

喫煙者に多い 喉頭がん

頭頸部がんは、鎖骨よりもの場所まで管状になった臓器の上皮(いわゆる壁紙)から発生するがんや、唾液とか甲状腺ホルモンを出す臓器などからできるがんを総称して頭頸部がんといえます。食事はまず口腔から入っていきま

舌がんで、これが大体、半分から6割ぐらい占めています。咽頭にできるがんが咽頭がんです。空気の通り道の鼻科や歯科で発見されて病院に

がん、唾液腺がんが10%といいますが、一般的には耳鼻咽喉科や歯科で発見されて病院に

頭頸部がんとは 診断と治療

静岡県立静岡がんセンター 頭頸科部長 鬼塚 哲郎 氏

やそれから副鼻腔といわれるところに行けるがんを鼻腔がん

たばこ、お酒などの生活習慣に深くかわる

頭頸部がんの原因として、空気や食事の通り道の壁紙、上皮が慢性的に何らかの刺激を受けて遺伝子が壊され

咽頭や食道の発がんの機会が増えます。また虫歯や歯周病で不潔な口腔状況では口腔内

発がん物質です。お酒はもちろんで飲んでもいいのですが、連日しかも2合、3合以上がま

は仕方ないでしょうが、50歳までには改めたいものです。男性の生活習慣を30年から40

多くの頭頸部がんは、口腔環境、喫煙、飲酒などの要因が絡み合っ

さらに最近では、内視鏡の進歩により、咽頭の深い部位の早期癌でも内視鏡で見ながら簡単に切除して治すこともできる

がんと向き合って ~理解・納得と勇気~

静岡県立静岡がんセンター公開講座第4弾「がんと向き合って~理解・納得と勇気~」(静岡新聞社・静岡放送、三島市民文化会館主催、県立静岡がんセンター共催、スル

〈企画・制作/静岡新聞社営業局〉

がんに対する 心の動き

病名開示など情報開示を前提とした医療が広がるのに伴って、患者さんが病気のことを知るといったつらい情報に直面する機会が、増えてきています。そういった中で患者さんの、不安をはじめとし

には、ある心理学者によると混乱、不安、抑うつ、適応、という3つの時期をたどることが多いとされています。す

変化、不安、抑うつになり、先行きに対する不安な気持ちや、病気のためにあきらめな

気持ちは落ち込むといった気持ちの悪循環に陥ってしま

気持ちは整理できることがあり、またアセトアルデヒドは喫煙との相乗作用により発がん

生活習慣をコントロール

頭頸部がん治療は、199

たえば義歯・入れ歯や歯の具合が長い期間悪いときは放っておかないで、歯科に行

患者の気持ち・心のうづき

静岡県立静岡がんセンター 精神腫瘍科医長 吉川 栄省 氏

なわち、最初の数日は大きな衝撃のため頭の中が真っ白になり、日常生活を営んでいくよ

うになることが多いとされています。しかし、病気の状態

それではこのような状態、気持ちは悪循環に陥らないよ

そんなときには、精神科医や臨床心理士といった、メンタルヘルスの専門家や、病院の

家族は第二の患者

状態に陥っていないかは、次のようになっているか注意して

適応障害やうつ病といった状態に陥っていないかは、次のようになっているか注意して

薬物療法も 有効活用

時にはお薬の力も借りることも大切です。精神安定剤や抗うつ薬というのを飲むのは、抵抗がある方もいらっ

「家族は第二の患者である」ということがあります。心の負担は患者さんだけに

精神的なことを相談するというのは恥ずかしいことでは

精神的なことを相談するというのは恥ずかしいことでは



吉川 栄省(よしかわ・えいしょう) 静岡県立静岡がんセンター 精神腫瘍科医長

1993年日本医科大学医学部卒業。95年同医大精神医学教室入局。2002年国立がんセンター研究所支所精神腫瘍学研究室、2006年より現職。精神保健指定医、日本総合病院精神医学会(指導医、専門医、)日本精神神経学会(指導医)、医学博士。

ん以外にも多くの悩みをかかえておられる方々は、なかなか気持ちの辛さが軽減して

思ひ出ばかり思い出したりして、さらに自分の置かれている状態や

「家族は第二の患者である」ということがあります。心の負担は患者さんだけに

精神的なことを相談するというのは恥ずかしいことでは

精神的なことを相談するというのは恥ずかしいことでは

精神的なことを相談するというのは恥ずかしいことでは

Table with 2 columns: Question (質問) and Answer (回答). Topics include: 告知の仕方 (How to inform), 告知後の対応 (Response after informing), 自殺の理由 (Reasons for suicide).

見直しは、他のたばこ関連がん肺がん、胃がん、肝がん、膀胱がんや酒関連がん(肝がん、大腸がん)さらには脳・心疾患、糖尿病のリスク減少にもつながります。人はがんにならないように節制し我慢しながら生きる必要はないと思